

町会福祉部連絡会
町会福祉部活動状況等アンケート（抜粋）

アンケート送付町会 65町会 回答町会 57町会（回収率87%）

I 今年（令和2年）3月～8月で、町会福祉部で活動を

した（28町会）

していない（29町会）

○福祉部として活動していなくても、婦人部など町会で戸別訪問やお元気確認など、地域活動を行っていたのがほとんどでした。

II-1 町会福祉部で実施したもの

- | | |
|-------------|-----------------------|
| ○戸別訪問 | （のべ33町会／内敬老訪問 27町会） |
| ○マスクや消毒液の配布 | （12町会）※手作りマスク講習会などを含む |
| ○ポスティング | （8町会／内敬老対応 3町会） |
| ○夜警 | （3町会） |

- ・お手紙を添えるなどの工夫。
- ・戸別訪問は、コロナ対策や熱中症対策

- ・新小学1年生のお祝いを宅急便で送った。（例年は訪問対応）
- ・3月手作りマスクキット（布・ゴム・作り方コピー）30セット作って配布。
- ・ひなまつりの時期に、ちらし寿司のお渡しをしながら、戸別訪問。
- ・コロナ対策グッズを戸別配布。マスクケースや殺菌効果の強い石鹼を配布。
- ・5月 70歳以上母の日カーネーションのお渡し。
- ・6月 70歳以上父の日あんみつのお渡し。
- ・6月中旬、熱中症予防で飲料を配布（2L6本入り）。
- ・掲示板にてコロナへの注意喚起、事業中止を案内。
- ・暑中見舞いや残暑見舞いの手紙をお出しした。
- ・8/1-8のラジオ体操の実施。期間中ソーシャルディスタンスに留意。
- ・敬老のお祝いのメッセージに町会手ぬぐいを添えて、非接触でポスティング。
- ・77. 88. 90歳の方へ敬老祝い金のお渡し（訪問）。
- ・75歳以上の方へ生まれた月の第一金曜日にお花をお届け。

- ・小規模ながらこども縁日を実施。

など

Ⅱ－２ 町会福祉部の活動だけでなく、地域（町会や婦人部、青年部など）で実施したもの

- ・長寿会で、婦人部長が誕生者に赤飯と紅白饅頭のお渡し。
- ・行事が出来ないので、町会費をいただかないことにした。
- ・マスクを各家庭に1箱（50枚入り）配布。
- ・婦人部でマスク不足の折、手づくりマスクの講習会を実施し各家庭に配布。
- ・5月に町会内希望者に消毒ジェルを配布。
- ・青年部でこどもたちに飲料やお菓子を配布。
- ・婦人部の協力で消毒液や飲料配布。
- ・町会で8/22納涼会（精養軒）を実施。
- ・8月に青年部がラジオ体操を実施。
- ・町会総会、氏神様のお祭り中止で白いタオルと一緒に赤字で「新型コロナに打ち勝ちましょうとメッセージチラシを配布。
- ・敬老の日の集まりを中止。業者に祝い品と記念品の贈呈を婦人部が手配。
- ・町会集金時に回覧物など声かけ。
- ・毎月、有価物の回収協力は継続。
- ・青年部はオンライン部会などで実施。
- ・歌舞伎の観劇募集

など

Ⅱ－３ 新型コロナ感染予防対策に留意しながら、9月以降実施を予定している活動

- | | |
|------------------------------|------|
| ○ 茶話会 | 2町会 |
| ○ 戸別訪問（お渡しのみも含む） | 12町会 |
| ・感染症資料の配布／マスク／緑茶／クレベリン（10月） | |
| ○ 敬老訪問 | 6町会 |
| ・羊羹、梅干し、赤飯、洋菓子、緑茶、麦茶 などのお渡し。 | |
| ○ 餅つき大会検討 | 3町会 |

- ・ 2月ころに集まりが難しいので、お寿司のお渡しを検討。
- ・ 3月のお花見。
- ・ 落語鑑賞会を少人数の観客でこども落語を実施。その後ビデオ編集しわがまち情報館で配信予定。
- ・ 花壇の植え込みが出来ず、涼しくなるまで待っている。
- ・ 青年部が暑気払いを企画してくれた。
- ・ 75歳以上に敬老の日に合わせてカステラをお渡ししていたが、小型羊羹をポスティング。
- ・ お菓子を郵送。
- ・ お彼岸と敬老に日をかねて、おはぎとチラシを配布。
- ・ 10月から月2回で開催していた筋力アップ体操を予定。
- ・ 10月から茶話会再開を予定。
- ・ 11/21 ヴァイオリンピアノコンサートを予定。
- ・ 12月中旬に戸別訪問。健康確認とクリスマスプレゼントのお届け。
- ・ 町会福祉部地区担当で顔合わせをしたい。
- ・ 電話訪問や戸別訪問を検討。
- ・ 5月11月のおたのしみ会の代わりに、ご機嫌伺いでおせんべいをお届け。
- ・ 12月夜警、2月日帰りバス旅行、9月賀寿の方へのお祝い。
- ・ 状況みながら、戸別訪問によるプレゼント贈呈か茶話会か迷っている。 など

Ⅲ コロナ禍の活動にあたって工夫されたこと

| | |
|--|------|
| ○ 対面や訪問は避けて電話で話を聞いた | 複 数 |
| ○ 手紙を出した | 1 町会 |
| ○ 訪問をしたが、短時間に努めた | 9 町会 |
| ○ 関係者との連携（町会／婦人部以外） 民生児童委員／こもれびなどの事業者 | 3 町会 |

- ・ メールや電話を活用。
- ・ LINEを使って連絡している。
- ・ アポイントを取って短時間で外で会う。

- ・ 少人数やブロック分け対応。
- ・ 独居の方中心に、インターフォンにて様子伺い。
- ・ 民生委員が電話訪問してくれた。
- ・ 様子伺いは、町会長や民生委員にも伺った。
- ・ 日々買い物などでの声掛けや見かけなくなった方の情報収集（複数）
- ・ 区の集合住宅（こもれび）居住者の様子などは、事業者へ現状伺い。
- ・ 町会費を振り込みにした。
- ・ 緊急事態宣言下は、町会費の徴収をとりやめ。
- ・ こちらからの訪問は難しい。福祉部での判断は難しい。
- ・ クリスマスカードのお渡し検討。
- ・ 月1回の集まりを2か月に1度。 など

IV 福祉部の皆様に対して、困りごとなどのご相談はありましたか。

- ・ 皆さんに逢えずさみしい。
- ・ 民生委員として2件相談を受け、あんしんセンターと連絡調整。
- ・ なるべくストレッチなど身体を動かすようにお勧めした。
- ・ 長寿会の集まりにお誘いされなくなったと相談。2週間の間5回ほどご説明をして、ご理解いただいた。
- ・ 90代の方から書類不備で返送されてきた。
　　> 給付金申請や保険証更新など書類の整理をした
- ・ 独居。休日夕方セコムからの通報で救急搬送。
　　> 区の在宅支援課から連絡があり、病院対応。
- ・ コロナで銭湯に行くのをやめていたが、ロッカー新年度支払い依頼。
　　> 半年分預かりお支払い。
- ・ ねずみ退治を相談された。
- ・ 食料品などの手配は家族が宅配するなど対応。 など

V 新型コロナウイルスによる自粛中や自粛後、地域において新たに感じたこと

- | | |
|-----------------------------|------|
| ○茶話会などが無くなり地域での交流が無くなってしまった | 8 町会 |
| ○健康のため、まちを散歩している高齢者が増えた。 | 5 町会 |
| ○人が少なくて人に逢わない | 9 町会 |

・なるべく声かけをしてきたが、マスク帽子だとなかなか気づけない。

- ・感染が不安なため、親族などの自宅に転居された。（2軒）
- ・話をしないと言葉が出なくなる気がする。少しでもいいので話すことが大切。
- ・シルバー体操もなくなってしまい、体を動かす機会がない。
- ・家から出てこない高齢者が心配。
- ・足腰が弱ってしまい転んでしまった人がいた。
- ・近くに住んでいても様子がうかがえない
- ・まちのお店もお休みで活気がない。
- ・V活動もなくなり、地域交流が無くなった。
- ・人との交流がなくなり、孤独感が深くなった。勇気づけられるメッセージが欲しかった。
- ・朝散歩している方が増えた。 など

VI 新たな生活様式の中、取り組んでみようかと検討していることや、してみたいこと

- ・高齢者の多い福祉部が新しい生活様式の中で取り組めることがあるだろうか。消極的かもしれないが、少しおとなしくしていきたい。
- ・テイクアウト情報や少食サイズの提供が出来ないか相談したい。
- ・毎年恒例の2月のトイレットペーパー配布は今年も継続したい。
- ・体操の再開。
- ・学生などとファッションショーやってみたい。
- ・町会の方に福祉部に対しての要望を聞く機会も作ることも大切。
- ・青年部と婦人部とも協議したい。

- ・ 町内の高齢者にプランター（ミント、シソの葉、レモングラス等）を育ててもらい、町内小店舗に寄付して交流してもらう。
- ・ 年末の手芸の会を続けていきたい。
- ・ SNSやWEBを活用した町会からの情報発信を検討中。など
- ・ 小さな単位での茶話会実施を検討。
- ・ 自粛の中で見られる体力の低下やそれに伴う気持ちの落ち込みを防ぎ、体を動かす活動を模索中です。 など

VII その他（福祉部活動におけるお悩み、ご意見や提案）

- ・ 町会役員、特に女性部の高齢化が顕著。世代交代も難しい。（5町会）
- ・ どのような状況になれば、高齢者を訪問してよいか、茶話会など開いてよいのか判断に迷っています。まだまだ活動が難しい（3町会）。
- ・ 共同住宅居住者へ、地域活動の告知。チラシ投函しても反応がなく、状況がわからない。
- ・ 助成金の使い方も悩んでいます。エコバックを渡せたらと思いつつ、どう渡してよいか悩んでいる。
- ・ 現状での無理強いはしたくない。違うやり方・活動を模索したい。
- ・ 活動場所が限られ、人数も限られブレーキがかかる。戸惑い、焦り・・・。
- ・ 留守が多く何度も訪問することが多い。階段の昇降も大変で最後は手紙をいれておきます。
- ・ 顔見知りは声をかけやすいが、広域での見守りはなかなか難しい。
- ・ 家族と一緒に高齢者が多いので、どこまで介入が必要か考えてしまいます。
- ・ コロナ禍で実店舗が必要な商品が購入できず、ネットショップでは代引きできない店もあり、クレジットカードを使用したい場面が散見される。
- ・ 社協からのチラシなどを配布しました。
- ・ オンライン対策のバックアップ
- ・ 戸別訪問時やポスティング出来る配布分が欲しい。 など